

ひがしめら
**環境
保全**

環境保全部では、東米良地域内の拠点施設等の美化活動や道路環境の整備など、日常生活の利便性の確保をはじめ、来訪者に喜んでもらえる地域づくりに努めています。

**シャクナゲの森
環境整備事業**

銀鏡神社周辺には、シャクナゲや桜などが数多く植栽されています。地元では、昔から共同で維持管理作業を続けています。共同で作業することにより、相互の絆も深まるとともに、四季折々の山里の地域景観の保持に繋がっています。

●西部通年



**旧一ツ瀬小学校跡
周辺環境整備**

中尾地区の環境整備活動で毎年地区の出身者も含め作業が行われています。一ツ瀬小学校は昭和57年に閉校しましたが、現在、グラウンドはゲートボール場として、教室は2014年に改修し棒踊りの練習場や集会所として活用されています。その学校周辺の道路や土手の草刈りなどが行われます。

●東部7月



ひがしめら
**活全
動体**

全体会では、協議会の運営に関することや全体で進めていく活動に取り組むとともに、関係機関団体との連携及び共同活動による将来に向けた地域づくりを進めています。

協働の地域づくり懇談会

東米良地域づくり協議会における令和元年度「協働の地域づくり懇談会」は台風の影響により中止となり、書面による意見要望を提出し市の回答をいただきました。主な内容は次のとおりです。

①台風・大雨災害を踏まえた対策
(回答)平成30年の台風災害は18箇所、工事が未完了の箇所は今年度末の完了を予定している。

②旧銀上小学校の活用
(回答)現在、教育委員会が管理しているが、地元が活用することについては問題はない。

③住居整備による親子での山村留学
(回答)教職員住宅の空き家があることから、教職員以外の活用について前向きに検討したい。

④銀鏡神楽・尾八重神楽・中尾棒踊りへの支援
(回答)民俗芸能保存団体連絡協議会加盟団体には助成金がある。出演依頼がある際の衣装クリーニング経費等は出演依頼主に相談してほしい。

⑤山の駅「しろみ」の厨房整備
(回答)山の駅は交流施設として位置づけがあることから、交流スペースの転用による厨房整備は激しい。国の中山間振興施策を活用した施設整備としては可能かもしれない。

⑥一ツ瀬ダム資料館の今後について
(回答)現段階では近くを通るトンネル工事の完了後も取り壊す予定はなく、トイレとして活用できるが、耐震補強の関係で活用できないことも考えられる。



ふれあいスポーツ大会

例年10月に銀上学園でグラウンドゴルフ・ミニバレー・ゲートボールの競技が行われ、各部落対抗や個人戦により試合が行われます。地域全体で行う唯一のスポーツ大会で、東米良体育振興会主催、東米良地域づくり協議会の共催となっています。



東米良地区地域支援事業・東米良創生会

2019年4月、社会福祉法人「善仁会」(濱砂重仁会長)は東米良地区支援事業準備室(職員2名)を銀鏡に設置。この準備室は、人口減少・高齢化が進行する東米良地区の創生と地域振興を目的としています。今後は、教育・文化・地場産業を3本柱とした「東米良創生プロジェクト」の具現化に向け、東米良地区の3ブロック(銀上・中尾八重・尾八重岩井谷)ごとの地域特性に合った計画を策定し、それを支援する市民活動団体の設立も計画しています。このプロジェクト推進のためには東米良地域づくり協議会との連携は不可欠なことから、円滑な推進のための協議会組織について見直す予定です。